



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月15日

上場会社名 株式会社ゼットン

上場取引所 名

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森充 TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,367	2.2	△166	—	△144	—	△112	—
27年2月期第1四半期	2,315	19.7	△1	—	9	△85.0	△3	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 △119百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	△26.05	—
27年2月期第1四半期	△0.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	4,456	1,035	23.2	240.33
27年2月期	3,702	1,194	32.2	277.17

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,035百万円 27年2月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	10.3	420	4.7	430	1.2	260	1.6	60.3
通期	10,500	9.5	340	49.8	400	32.5	180	20.0	41.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	4,307,900株	27年2月期	4,307,900株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	43株	27年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	4,307,857株	27年2月期1Q	4,308,900株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年3月1日～平成27年5月31日)の連結業績は、売上高2,367百万円(前年同期比2.2%増)、営業損失166百万円(前年同期は営業損失1百万円)、経常損失144百万円(前年同期は経常利益9百万円)、四半期純損失112百万円(前年同期は四半期純損失3百万円)となりました。

当期間において当社グループは、多店舗化を進める「アロハテーブル」、並びに派生ブランドの「アロハアミーゴ」を中心に常設店を5店舗、またビアガーデンを1店舗出店し、合計6店舗の新規出店を行いました。なお、ビアガーデンは熊本での出店となり、当社初の九州地区での出店となります。これにより当第1四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店77店舗(国内74店舗(ビアガーデン20店舗含む)、海外3店舗)、F C店5店舗の合計82店舗となっております。

売上高につきましては、ブライダル事業における婚礼の施行組数が減少したことを主因に既存店売上高が92.9%となりましたが、新規出店による店舗数の増加等を要因に増収となりました。一方、営業利益につきましては、既存店の減収に加え、新規店舗の出店費用を要因に減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ753百万円増加の4,456百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計241百万円、売掛金が220百万円、現金及び預金が164百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ912百万円増加の3,421百万円となりました。これは主に、長期借入金376百万円、未払金が223百万円、買掛金が220百万円、未払費用が101百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少の1,035百万円となりました。これは主に、利益剰余金が150百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年4月13日に発表いたしました予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,860	844,051
売掛金	132,862	353,173
商品	1,966	1,613
原材料及び貯蔵品	84,910	104,281
未収還付法人税等	25,106	25,095
前払費用	80,395	98,049
繰延税金資産	30,017	86,551
その他	62,947	86,015
貸倒引当金	△107	△731
流動資産合計	1,097,960	1,598,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,533,405	1,675,656
工具、器具及び備品(純額)	283,654	347,037
リース資産(純額)	213,814	251,399
建設仮勘定	44,067	42,151
その他(純額)	397	306
有形固定資産合計	2,075,338	2,316,551
無形固定資産		
無形固定資産	29,403	27,807
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	22,600	22,730
差入保証金	375,998	399,580
繰延税金資産	100,344	90,898
その他	157	84
投資その他の資産合計	500,099	514,293
固定資産合計	2,604,842	2,858,652
資産合計	3,702,802	4,456,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,156	578,777
1年内返済予定の長期借入金	421,626	441,069
リース債務	64,310	70,178
未払金	164,754	388,567
未払費用	215,671	317,445
未払法人税等	12,097	13,722
未払消費税等	66,803	29,803
前受金	106,215	73,090
その他	31,286	40,761
流動負債合計	1,440,922	1,953,416
固定負債		
長期借入金	771,013	1,147,386
リース債務	173,835	190,292
資産除去債務	82,714	90,371
繰延税金負債	32,953	32,638
その他	7,333	7,333
固定負債合計	1,067,850	1,468,022
負債合計	2,508,773	3,421,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	468,496	317,521
自己株式	△31	△31
株主資本合計	1,149,878	998,903
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,151	36,410
その他の包括利益累計額合計	44,151	36,410
純資産合計	1,194,029	1,035,313
負債純資産合計	3,702,802	4,456,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,315,893	2,367,473
売上原価	738,870	731,506
売上総利益	1,577,022	1,635,967
販売費及び一般管理費	1,578,886	1,802,097
営業損失(△)	△1,863	△166,130
営業外収益		
受取利息	85	7
協賛金収入	13,967	24,363
為替差益	2,903	2,666
その他	456	396
営業外収益合計	17,413	27,434
営業外費用		
支払利息	3,977	4,675
たな卸資産廃棄損	1,635	—
その他	832	955
営業外費用合計	6,446	5,630
経常利益又は経常損失(△)	9,103	△144,326
特別利益		
固定資産売却益	92	296
特別利益合計	92	296
特別損失		
固定資産除却損	—	1,873
特別損失合計	—	1,873
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	9,196	△145,903
法人税、住民税及び事業税	4,274	13,702
法人税等調整額	8,401	△47,402
法人税等合計	12,675	△33,699
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,479	△112,204
四半期純損失(△)	△3,479	△112,204

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,479	△112,204
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,249	△7,740
その他の包括利益合計	△4,249	△7,740
四半期包括利益	△7,729	△119,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,729	△119,944
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年3月1日 至平成26年5月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	990,202	1,325,690	2,315,893	—	2,315,893
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	990,202	1,325,690	2,315,893	—	2,315,893
セグメント利益又は損失 (△)	139,787	30,075	169,862	△171,725	△1,863

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△171,725千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至平成27年5月31日）
当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「公共施設開発事業」、「商業店舗開発事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より「飲食事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、「店づくりは街づくり」という基本理念のもと、飲食を通して街の活性化、新しい文化の醸成に貢献するべく事業を展開してまいりましたが、事業拡大に伴い、当社グループの経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、「飲食事業」として当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。